



* 今月の花
ナルコユリ



中国朝鮮族の描き方に??
「警察」のヒーロー化、いただけない!

鑑賞のおすすめ



【その 86】

韓国映画

『犯罪都市』

(2017年)

監督：カン・ユンソン

伊藤 一郎

(koreamovieculture@yahoo.co.jp)

朝鮮文化を知る会

映画の背景は二〇〇四年のソウル。ソウルでは二〇〇三年に、ソウル二〇人連続殺人事件が発生しており、住民たちの間で凄惨な大量殺人の記憶が鮮明な時期であった。映画のあらすじは以下のとおり。

二〇〇四年ソウル。ソウル警察強力班のマ・ソクト(マ・ドンソク)は、武器を持つヤクザにも素手で立ち向かうコワモテの刑事である。ある日、娯楽場でヤクザ同士の抗争事件が発生した。被害者は毒蛇組の組員であり、犯人は対立するイス組の男だった。マ・ソクトはイス組の犯人を逮捕し、双方の組のボスの仲を取り持つことにより街の治安を守ろうとしていた。そんな中、中国朝鮮族の暴力团组织・黒竜組がソウルで暴れ始める。黒竜組のボスのチャンは、凄惨な暴力性によって韓国人の暴力团组织・毒蛇組を乗っ取る。その後、黒竜組はイス組などその他の韓国人の暴力团组织とも対立を深める。一方で、暴力团组织による一般庶民の搾取、暴行が織

烈を極めていく。そんな状況の下、ソウル警察強力班は黒竜組の一掃作戦を立てる。

他の作品同様、マ・ソクトを演じるマ・ドンソクが存在感が際立っている。相変わらず格闘シーンも圧倒的強さがあるため、他の作品の格闘シーンのようにハラハラドキドキせず安心して見ていることができる(注1)。

映画で描かれた中国朝鮮族は、非常に残酷かつ冷酷である。筆者はこれらのような中国朝鮮族にほとんど会ったことがない。たしかに一度中国朝鮮族の多く住む中国のある地方を旅したときに、凄惨な事件を目撃したことがあるが、それは例外であろう。ごく一部の中国朝鮮族の犯罪者を題材に映画を制作することに何の意味があるのか、と疑問に思った。

韓国では映画だけでなくドラマでも中国朝鮮族が残酷な犯罪者として描かれることがある。その状況を見て、多くの中国朝鮮族が心を痛めている。いうまでもなく大多数の中国朝鮮族は犯罪とは無縁の

普通の生活をおくっているにもかかわらず、明らかにそこには意図的で悪意のある誹謗中傷の意思を感じる。

映画で出てくるソウルの特定の地名(中国朝鮮族が多く居住する「テリム」など)の使用も明らかに意図的である。また韓国のメディアを視聴していると、日本では考えられないような外国人としての「中国朝鮮族(注2)」への偏見を煽る内容が多い。韓国のコメディアンが日本のオレオレ詐欺(ボイス・フィッシング)のエピソードを紹介する際に、なぜかわざと韓国に住む多くの朝鮮族が使用する延辺方言を話したりする(注3)。それに対して大笑いをする視聴者も視聴者である。

当該のコメディアンたちは、このような中国朝鮮族に対する偏見を煽る行為が自らの価値を高めると勘違いしているのである。このような韓国メディア上の偏見に満ちた番組を望んでいるのは、他ならぬ視聴者である。警察をヒーローに仕立て上げる、各国

のメディアで共通に見られるお決まりの陳腐な内容もいただけない。大多数の視聴者が人の心を傷つける差別者である状況に絶望を覚える。

社会の大多数の娯楽のために少数者を侮辱する芸術は、この世に不要である。傷つけられた人々について、多くの人々が思いを寄せなくなつた世の中は、その存在価値すらないであろう。多数決の原則が支配する社会であるほど、少数者の権利に対する認識と、これを保護するための努力が必要である。声すら上げられない少数者の人々の声を聞き、その人々から学ぶところから私たちは出発していかなければならない。

(注1) アメリカ映画に例えると、映画俳優であると同時に合気道の達人でもあるスティーヴン・セガールであろうか。

(注2) 海外に住む韓国人を在外同胞と表現することが多いが、なぜか中国に住む同胞だけ特定して「中国朝鮮族」あるいは「朝鮮族」と表現しており、しばしば違和感を覚える。

(注3) 最近、韓国の学校における中国朝鮮族の人々に対する凄惨ないじめの状況を聞いた。それらの内容を聞いてみると、日本で生活する中国朝鮮族の状況よりも酷い印象である。なぜ同じ民族をルーツを持つ人々が、いわばその民族の祖国で理不尽な扱いを受けな

ければならないのか。メディアでの中国朝鮮族の方言に対する不当な取り扱いもそれらの理由の一つと思われる。自らの祖先が生活していた地で、同じ民族にいじめられる人々の心の痛みを思う時、言葉を失う。

2023年

7月18日(火) - 9月9日(土)

ピースあいち 夏の特別展

新美南吉の 生きた時代

文学と戦争と平和



「こんまり社」手袋を買いに など、多くの作品が子どもから大人まで愛されている児童文学者・新美南吉。1913(大正2)年に現在の半田市で生まれ、1943(昭和18)年、29歳という若さでこの世を去りました。その生涯は、戦争の時代と重なっています。創作に命をかけた青年は、この時代をどう見つめ、文学へと昇華していったのでしょうか。生涯110年、新美南吉の文学と人生に迫ります。



開館時間 ■ 11:00~16:00 (最終日は15:00まで)
 休館日 ■ 日曜日、月曜日
 観覧料 ■ 大人 500円 小中高生 200円
 (入館料大人300円、小中高生100円を含みます)
 会場 ■ ピースあいち 3階展示室ほか
 後援 ■ 名古屋市教育委員会
 資料提供 ■ 新美南吉記念館

【博物館相当施設】
戦争・平和の資料館 ピースあいち
 〒465-0091 名古屋市名東区よもぎ台 2-820
 TEL & FAX 052-602-4222
 この展示会は「東海地域NGO活動助成金」(宗教法人員知和と名古屋NGOセンターとの協働事業)の助成を受けています。

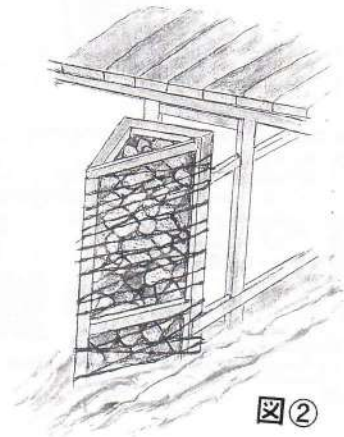
愛知高等学校教員時代の南吉

勢多唐橋

せたのからはし

その源流について

山崎真臣



図②

昨年の九月頃の記憶と
 が、テレビを見ていて、飛
 上がらんばかりに驚いた。今
 回はその時の事と、その時感
 じた事を披露してみたい。

その放送はNHKの『天山
 山脈』という番組で、「天山
 山脈の北に流れる溪流に架か
 る木橋・・・」、その様なナ
 レーターと共に映し出された
 映像を見た瞬間、アッ！と声
 を上げんばかりに驚いた。な
 ぜそんなに驚いたかと云う
 と、奈良時代に造られた木橋、
 勢多唐橋の遺構と、天山山脈
 に映された木橋が酷似してい
 たからで、奈良時代の木橋が、
 未だに造り続けられていると
 驚嘆の思いが沸き上がってき
 たからだ。

勢多唐橋の遺構は水面下の
 もので、テレビの画面では水
 面下は映っていない。しかし、
 上部の構造から考えられる水
 面下の姿は容易に想像でき
 た。

勢多唐橋の奈良時代の遺構
 が見つかったという報道は、
 一九八八年七月十四日のこと
 で、各社の新聞が大きく伝え
 た。【図①】は中日新聞のも
 のである。

その後私は『勢多唐橋』(小
 生原好彦編・六興出版)で詳
 しく論じられていたものが頭
 に残っていたため、天山山脈
 の木橋が同じ系統のものであ
 ると直感した。
 その時の映像を記憶のまま

図にしたのが、【図②】であ
 る。

【図③】は勢多唐橋の橋脚
 の実測図を著者が模写したも
 ので、図面は天山山脈のもの
 を著者が推測し、図におこし
 たもので、柄(ほぞ穴の違い
 はあるが、まったく同類と推
 定した。

柄穴の違いは重石の懸け方
 の違いで、勢多唐橋の場合は、
 蛇籠か蔦を編んで、袋状のも
 のに岩石を詰め、橋脚に載せ
 重ねたと思われるが、天山山
 脈のものは、上流の三角部分
 と後部の三角部分に、ワイヤ
 ーロープ又は番線を巻き込ん
 て、岩石の脱落を防止した構
 造である。

勢多唐橋は近接地に国衙が

あり、勢多津、勢多駅など古
 来から要衝の地であったため
 に、多くの記録に残されてい
 る。

例えば織田信長が美濃から
 上洛した際、舟橋を懸けさせ
 たことが『信長公記』に記さ
 れその後、二人の武将に命じ、
 三ヶ月後に橋が竣工したとあ
 り、ルイス・フロイスの『日
 本史』には、その橋のことを、
 十万人以上の軍人を短期間に
 渡らせることができる大橋とあ
 る。その他『吾妻鏡』『太平
 記』『玉葉』『かげろう日記』
 『更級日記』『正倉院文書』『日
 本後紀』『日本書紀』など五
 十数種に記されている。

そして「唐橋を制する者は、
 天下を制す」と云われるほど

韓国 5.18民主化運動真相究明調査委

日本の新聞記事スクラップ ハンゲル訳で冊子に

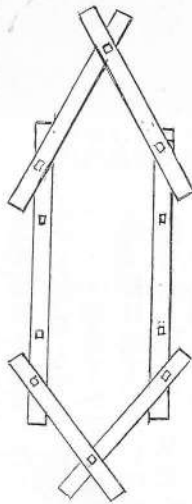
昨年十月、県連事務局の小出は、一九八〇年五月の「光州民主化闘争」に関する、自身の新聞スクラップ記事帳（「朝日」「毎日」「中日」「中部読売」「赤旗」など）を、来日した韓国光州の帝強制動員市民の会スタツフに渡した【既報】。

韓国「5・18民主化運動真相究明調査委員会」はこの度同スクラップ帳の記事百八十件を一冊の冊子（B四版、二八一頁）にまとめた。元記事の記事はもろろん見出しから写真説明まで、文字通りハンゲルに逐語訳されている。

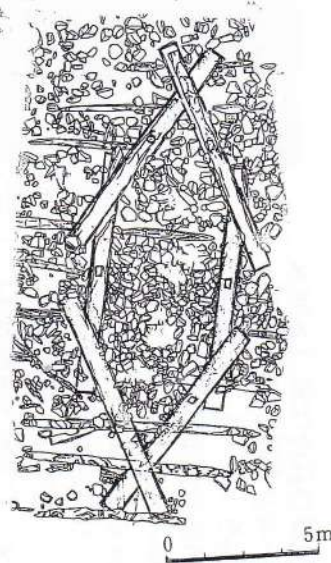
『なぜ、ここまで？』という当方の問いに、5・18調査委員会副委員長アン・ジョン Chol 氏が、光州市民の会を通じて、要旨次のように回答した。

「一九八〇年五月当時、光州は孤立し、情報は途絶していた。現在は「高貴な民主化運動」として位置づけられています。未だ一部に「暴動」説、「北韓軍介入」説があり、心が痛い。このようななかで、今度寄贈された資料は、光州民主化運動の事実と真正性を知り、知らせるのに大切な資料になります」。

図④



図③



重要なもので他に例がない。唐橋の唐（カラ）は古くは外からと云う意味に使われ舶来の意である。当時の外国と云えば、大陸の唐か、朝鮮半島の新羅を指している。

新聞発表のあった前年、新羅王宮内の木橋と石橋の遺構に関する報告書が発表されていて、石橋は長六角形、木橋は長五角形の構造であった。勢多唐橋と同じ系統のもので、新羅からの技術協力があったと推定され、唐橋の唐は

新羅であろうと私も思っている。

現存する天山山脈の木橋の地は、ギリシャ文明の影響を受けたスキタイ文明（前八世紀から前三世紀頃）が、その後を匈奴が続き、山脈の北も南もシルクロードの要路であった。

その事を思うと、唐橋の源流は、いったい何処であろうかと思うのが現状である。



同冊子の体裁。左II元記事、右IIハンゲル訳文

歴史の心

第5講 朝鮮国とシルクロード その1

金 宗 鎮

1 サマルカンドへの高句麗使臣

ウズベキスタン共和国のサマルカンド市の宮殿壁画に高句麗使臣が描かれていた。

【図A】

壁画は六五〇〜六五五年の唐の使節と高句麗使節の図である。

折風と呼称される帽子、環頭太刀の二名が高句麗使である。一方高句麗の安岳3号墳(故国原王陵)からは、西域の仮面踊りの壁画が発見されている。

『高句麗はサマルカンドにまで使臣を派遣した。この事実は、学界を大きく驚かせた。』
・東北アジアの範囲を大きく抜け出て、広い国際的範囲で対外事業を活発に展開し(「朝鮮の絹とシルクロード」曹喜勝・雄山閣)

『四世紀に高句麗が、砂漠の道を通じて西域への道を開拓し、その道を通じて高句麗の優秀な絹が西域に数多く流れていった。』
・その代償として「崑崙の玉」「ローマンガラス」などをはじめ西域の

稀貴な品物が高句麗に入ってきて、その一部であるガラス杯などが新羅へもたらされたのである(同上)

西域とは、ペルシャ(イラン)・小アジア・エジプト方面まで包含する。

新羅においてガラス容器が出土した古墳は九カ所ある。

2 朝鮮三国の絹とシルクロード

シルクロードは内陸アジア・タリム盆地を東西に貫通する隊商路をいう。

この道を東方の特産品である絹(朝鮮と中国)が遠く西方の国々に輸送された。

(1) 三国時代の絹

『三国史記』によれば、高句麗初期に蚕飼養を専門とする部、設けられている。

『広開土王陵碑』には、百済が高句麗に細布一、〇〇〇匹を献じたとの記述がある。

新羅は天武天皇に馬、ロバ、皮類とともに朝霞錦を与えた(『日本書紀』(天武十年十月条)に記述されている。
ここで朝鮮絹と中国絹のち

がいを一言で言えば、朝鮮の蚕は三眠蚕、中国は四眠蚕であることだ。三眠蚕は養うことは易いが糸が少なく、四眠蚕は養いにくい糸が多いという。生産性は四眠蚕の方が高いとされる。

(2) 日本に伝えられた朝鮮の養蚕

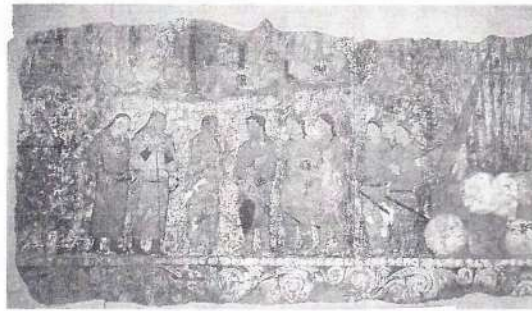
百済の絹が日本へ伝えられたことは、『日本書紀』にある裁縫工女(きぬぬひをんな)真毛津を送った。そして秦氏の太秦の絹糸等々にある。

『日本においては「やまにしき(大和錦・倭錦)」「かにしき(韓錦・加羅錦)」「こまにしき(高麗錦)」の三種が存在したが、これらはともに朝鮮系統の絹織り手法であり、絹であった(同上)

(3) 渤海と後期新羅のシルクロードと貿易

渤海は高句麗の旧地に高句麗の王族の大祚榮(テ・ジョヨン)によって創建された。

『旧唐書』は「大祚榮は驍(つよ)く勇猛で、軍隊よく使い鞅鞅と高句麗の遺民たちが漸次、彼に帰属した」と記す。



サマルカンドの宮殿壁面に描かれた高句麗使節(右端の二人)



シルクロード (喜喜勝氏の著書より)

渤海王は日本への使臣の国書に、「遣高麗国王」と記した。『続日本紀』はこれに依り、「渤海国は本来高麗の旧地域を回復して、扶余の遺習を持った」と述べている。

渤海、六九八年に建国されて、朝鮮の国土には二つの国、渤海と後期新羅が並立することになった。

△渤海と唐の貿易

『渤海は、唐と使臣の往来を通じて貿易を計一三二回、後梁・後唐との貿易も計一三回行った』(同上)

渤海の輸出品は、馬・羊虎の皮・海豹の皮・熊の皮・貂皮、人参、絹布、味噌、陶磁器等であった。唐からは、絹等が主力商品であった。唐をして『海東の盛国』と呼ばれた渤海の外交・貿易の姿であった。

△渤海と日本の貿易

『渤海が、二〇〇年間に日本へ派遣した使臣は十五回ほどであった。両国の使節往来は四九回であった』(同上)

奈良、平安の天皇、貴族たちは、渤海の毛皮や陶磁器な

どの貴重品をこぞって歓迎した。毛皮などは貴族たちのステータス・シンボルとなった。『源氏物語』には黒貂の皮を「布流語」と呼びながら珍貴なものとして貴重に保管したという話が出てくる。

文化の交流がなされた。詩文の交歓に、日本側は随分力を入れていた。都良香と楊成規の漢詩の交流、空海と王孝廉、菅原道真と楊成規の漢詩の交流は、日本の漢詩文化がまさに揺籃期を迎えた時期にあった。

渤海は唐の文化を伝えていく。八五九年に馬孝阜・卓慎は宣明曆をもたらした。それは八六一年から一六八八年まで日本に採用されている。

渤海使の規模は、十五回目の三二五名、十八回目の一八七名等であったが、使臣とは別に七四六年に一一〇〇名の渤海商隊が来日したとの『続日本紀』の記述がある。

△新羅の唐交易とシルクロード

後期新羅の時期は、東アジアでの唐を中心とする時代であった。唐による、各国の序

列が定められた。七五三年、唐において正月元旦の儀式があった時のことであった。

新羅は東側列の第一位を占めて、次に大食国(タジーサラセン国)があった。西側列で土蕃(チベット)が一位、次に日本があった。(七五三年)

八三九年には渤海が、次に新羅、そして南詔国(雲南)、日本とした。新羅の唐による国際秩序の中の地位は、その商業活動にも見られる。

新羅の商人は、山東半島から揚子江へ至る海岸の多くの所に新羅商人の居留地である「新羅坊」をつくった。各地の新羅坊には二〇〇〜三〇〇名の新羅商人が常駐していた。円仁の『入唐求法巡礼記』には、新羅人の張保臯(チャン・ボゴ)の支配下の寺院で入唐求法の巡礼を行ったことが記されている。

さて、新羅の交易だが、新羅からは、馬・牛・人参・三眠蚕の絹布・海豹皮・金と銀・犬などを輸出した。

唐からは絹・螺鈿器物・サファイヤ・象牙を輸入した。

渤海は唐の文化を伝えていく。八五九年に馬孝阜・卓慎は宣明曆をもたらした。それは八六一年から一六八八年まで日本に採用されている。

渤海使の規模は、十五回目の三二五名、十八回目の一八七名等であったが、使臣とは別に七四六年に一一〇〇名の渤海商隊が来日したとの『続日本紀』の記述がある。

△新羅の唐交易とシルクロード

後期新羅の時期は、東アジアでの唐を中心とする時代であった。唐による、各国の序

朝鮮民主主義人民共和國
ピョンヤンからの
通信



【編集者まえがき】本欄は、我が国とは未国交状態にある朝鮮民主主義人民共和國の立場や日朝関係を含む諸見解を理解できるように、同国の対外文化連絡協会（ピョンヤン）を通じて日朝協会愛知県連（名古屋）に直接送られる情報・資料をそのまま紹介する欄です。

核汚染水

人類を犠牲にしようとする日本の鉄面皮な犯罪的妄動

朝鮮対外文化連絡協会

【朝鮮民主主義人民共和國
ピョンヤン 2023年6月15日】
原文／日本語

難が激しくなると日本当局は、処理された核汚染水は放流しても被害はないだの、国際原子力機関の認定を受けたのだと世界の世論を欺瞞してみようと企みました。

専門家たちが、処理工程を済ませたという日本の汚染水を検査したところ、依然としてストロンチウムのような放射性物質が基準数値を越えて含まれていました。

二〇二一年二月と四月に福島県周辺水域で取った魚類の体内に放射性物質含有量が許容数値よりはるかに多いということが判明され、魚類の販売が禁止される騒ぎも起こりました。

専門家たちは、核汚染水を海に放流させると生態環境と人間の健康・生命安全に及ぼす致命的な結果は想像を絶するものであると主張しています。

日本が多量の核汚染水を放流する場合、数ヶ月後には九州島付近の海域まで汚染され、一年後には朝鮮東海全体が、しまいには太平洋全体が「死の海」に化するであろう

福島原子力発電所の核汚染水を海に放流しようとする日本の犯罪的妄動が極めて危険な段階に至っています。

周知のように、今から十余年前に日本列島を揺るがした大地震と津波によって福島原子力発電所が爆発する事故が起こりました。

事故によってトリチウムとセシウム、ストロンチウムなど危険な放射性物質が漏れ出して周辺地域をひどく汚染させ、その後、反応炉設備に雨水と地下水が流れ込み、多量の核汚染水が産生されました。

重大なことは、原子力発電所から漏れている多量の放射性物質が日本の沿岸はもちろん北アメリカ地域の太平洋沿岸にまで流れていることです。

二〇一一年四月二二日に「東京新聞」が発表した東京電力の計算結果によりますと、事故により四月一日から六日間に福島原子力発電所が一年間海に放流できる許容数値の二万倍に達する放射性物質が海に流れ込んだということです。

その後二〇一一年一二月、許容数値の一〇〇万倍に達

する放射性物質が含まれた四五トンの汚染水漏出、二〇一三年八月と十二月には許容数値の二六六万倍を越える五〇〇トンの汚染水漏出、二〇一四年二月に約一〇〇トンに達する汚染水漏出など大小の高濃度汚染水漏出事が相次いで起こりました。

核汚染水漏出とその被害が深刻になっていくにもかかわらず、日本は許容数値の一〇〇倍を越える核汚染水一万一五〇〇トン「低濃度汚染水」と言いながら海に放流しました。

それに対する国際社会の非

との主張が強く提起されています。

しかし、鉄面皮な日本当局は、「安全な処理水」「飲んで大丈夫な水」であると言い張り、果ては「汚染水」という表現は不適切であるために「処理水」と言うべきであると内外の世論を欺瞞しています。

去る三月には核汚染水放流計画に対する「支持」を得る



去る五月二三日、朝鮮日報が市民団体(社)「日帝強制動員市民の会」(以下、「市民の会」)に対して、事実を歪曲する悪意的な報道を出したことを皮切りに、「国民の力」が保守言論に合わせて「市民団体の仮面をかぶった国庫タカリ利益集団」、「市民運動を仮装した過去事ビジネス市民団体」、あげくには保護費を

ために福島産食品の特別品評会に料理人、食堂経営者、小売業者らを招聘する茶番劇まで演じました。

今、福島原子力発電所には、オリンピック競技もできるプール五〇〇個以上を満たすのに十分な量の核汚染水が貯蔵されており、その量は毎日約一四〇トンずつ増えているという事です。

看過できないことは、日本

が国内外の強い反対にもかかわらず核汚染水放出のための設備の試運転を行ったことなど、すでに汚染水放出を実践段階で進めていることであります。

人類に核汚染を被らせようとするこの危険極まりない犯罪的妄動は内外の厳しい非難と糾弾を招いています。

アジアとヨーロッパの多くの国の政府と国際機関が、日本

当局の一方的な核汚染水放流企図が世界の海洋環境と人類の健康に予測できない核汚染事態をもたらす反人倫的な犯罪行為になると糾弾しています。

海に核汚染水を放流するのは、全人類に核惨禍を被らせるとしてはなりません。

民主主義の逆行、歴史正義の後退

「日帝強制動員市民の会」などの市民団体弾圧、尹錫悦政権を糾弾する!

記者会見文

むしる「組織暴力に」に比喩して、過去一四年間勤労挺身隊被害者の人権回復に先頭に立ってきた「市民の会」に対する誹謗と謀略を扇動している。

遂に五月二三日には、極右団体「自由大韓護国団」が『弁護士法』違反と『業務上横領』等の容疑で、市民の会

をソウル中央地方検察庁に告発したのに続き、「国民の力」は市

民団体の仮面をかぶった偽市民団体を正常化するとして、

「市民団体先進化特別委員会」を発足する等、保守言論、極右団体と合作して、市民団体叩きを本格化している。このような行動は、日本の

被告企業の賠償責任をとんでもないことに被害国韓国に押し付けて、歴史を逆に回す屈辱外交に対する国民的な非難が高まると、守勢に追い込まれた尹錫悦政権と「国民の力」が、逆に被害者賠償判決の先頭に立つ市民団体に対する弾圧によって局面を転換しようとするもので、まさに盗っ人猛々しい居直りと言わなければならぬ。

尹錫悦政権はすでに昨年から、済州島と慶尚南道昌原(チヤンウォン)の進歩的活動家を拘束していたが、この五月二三日には国家保安法を掲げて進歩党の前共同代表と全教組江原支部の支部長に対する押収捜索を行った。それだけでなく、大統領の「不法集会

厳正対応」という発言に歩調を合わせて警察は、光陽で座り込み中の韓国労総組合員を血まみれにする暴力で鎮圧し拘束させただけではなく、光州地域でも「ジプシー法違反」の疑いで、光州地域市民団体の活動家(光州環境運動連合、光州進歩連帯、民主労組光州地域本部)を相次いで捜査線上に挙げるなど、市民社会・労働団体に對する弾圧が度を超えている。

これは、日本には白旗投降して米国には屈従し、新冷戦に向かつて疾走してきた尹錫悦政権と「国民の力」が来年度の総選挙を控え、政権に批判的な勢力を前以って社会的な闇や敵に回し、弾圧を通じて保守層の結集に出たのだ。

「市民団体先進化特別委員会」を発足させ、騒ぎを起しているが、その内幕を覗くと常識も羞恥心もない極悪非道な政権と言わざるを得ない。過去に、「国民の力」の關係者や極右メディアは、どこに立っていたのか。大法院判決の妨害、判決執行の妨害、被害者に対する侮辱、団体への圧迫、日本政府のご機嫌取りで一貫してきた者が、今になつてどの面下げて被害者の

人権云々し、市民団体を弾圧するの。黙々と市民の権益と民主主義、韓国社会の公益のために献身してきた市民社会労働団体に、不当な烙印を貼り弾圧することは、数多くの人々の血と涙で立ち上げた民主主義と歴史の時計を、逆に戻そうとする時代錯誤的発想だ。

尹錫悦政権と「国民の力」に警告する。

常に、守りに追い込まれた政権は、これを批判する人々に對する無差別的な弾圧を行なつてきたが、彼らの蛮行はすぐに強力な抵抗にぶつかつてきた。尹錫悦政権と「国民の力」は、極悪非道な政権の末路は常に悲惨だった、歴史の教訓をしっかりと記憶しなければならぬ。

今、われわれは尹錫悦政権と「国民の力」の歴史後退と、市民団体に對する締め付けに對抗して、いかなる侮辱や弾圧にも屈せず、連帯の手をより強固に握つて共に闘つて行かろう。

われわれの要求

一、尹錫悦政権と「国民の力」は、屈辱的な日帝強制動員解決策を直ちに撤回せ

よ!

一、歴史正義運動、市民団体の抑圧! 親日売国尹錫悦政権を糾弾する!

一、尹錫悦政権と「国民の力」は、対日歴史正義運動の先頭に立つてきた市民団体に對する弾圧を止める!

二〇二三年六月八日

- (社)の100民族統一学校光州全南支部、(社)光州社会革新カーネットワック、(社)光州市民センター、(社)光州障害者人権センター、(社)光州全同胞ひとつ、(社)光州全南緑色連合、(社)光州全南消費者市民の会、(社)国の愛芸術団、(社)無等山ムドルロード協議会、(社)無等山保護団体評議会、(社)白南農民記念事業解、(社)市民生活環境会議、(社)五月母の家、(社)わが民族、(社)日帝強制動員市民の会、(財)地域文化交流湖南財団、カトリック共同連帯、カン・サンチョルと共にする友人たち、健康社会のための薬事会、光州全南支部、健康社会のための歯科医師会、光州全南支部、光州YMCA、光州経済正義実践市民連合、光州共同住宅聯合会、光州キリスト教評議會、人権委員會、光州大学民主同盟会、光州福祉共感プラス、光州市民団体協議会、光州エゴバイク、光州女性労働者会、光州女性民友会、光州女性支援センター、光州女性の電話、光州女性人権支援センター、光州女性障害者連帯、光州女性会、光州全南大学民主同盟協議会、光州全南大学生進歩連合、光州全南民主言論市民連合、光州全南民主化運動同志会、光州全南女性団体連合、光州

- 全南ろうそく行動光州全南追慕連帯、光州全南韓国人の電話、光州進歩連帯、光州平和と統一を開く人たち、光州環境運動連合、光州興仕団、国民主権連帯光州全南支部、キム・ヤンム精神継承事業会、キム・ハクス烈士追慕事業会、羅州愛の市民の会、南道歴史研究院、労働失業光州センター、東新大学民主同盟会、二回りランウイド社会的協同組合、リユ・ジェウル烈士追慕事業会、木浦大学民主同盟会(進)、民族問題研究所光州支部、民主労組光州本部、バク・スンヒ精神継承事業会、バク・ジョンテ烈士追慕事業会、朴泰栄記念事業会、順天大学民主同盟会、オ・ヨングオン烈士追慕事業会、五月を愛する人たちの改、わが農村活かし運動、天主教光州大教区本部、イ・ギヨンドン、ハン・サンヨン烈士追慕事業会、イ・チヨルギョ烈士追慕事業会、全国公務員労働組合光州地域本部、全国教授労働組合光州全南支部、全国教職員労働組合光州支部、全国農民会連盟光州全南連盟、光州市農民会、全国女性労働組合光州全南支部、全南大学民主同盟会、全南女性障害者連帯、チヨン・グアンフン議長追慕事業会、正義党光州広域市党、全国統一汎民族連合南側本部光州全南連合、朝鮮大学民主同盟会、進歩党光州広域市党、真なる教育のための全国学父母会光州支部、参与自治会、ピョ・ジョンドゥ烈士追慕事業会、湖南大学校民主同盟会、孝泉(ヨチヨ)民主主人権フォーラム、(社)光州民族芸術人団体總連合(2023年6月8日午前二時現在、87団体)

【訳】李洋秀氏

論評

歴史認識の壁
植民地合法論喜光文
愛知朝鮮学園理事長

参議院において六月、外国人の強制送還を可能にする入管難民法改正案が可決された。これは人権を蹂躪している面において、徴用工問題と共通しているように思われる。

今年四月号に拙文「徴用工問題の解決」で、歴史認識の背景や両国の対立面について言及したが、「不法な植民地支配」について説明が足りなかった。両国の司法判断や歴史認識の違いは五十年前、韓日条約において、両国の思惑が植民地支配の違法性を曖昧にした結果から生まれたと思われる。

植民地に関する研究は多数存在するが、その歴史的背景から日本の植民地支配の事後責任に関する視点まで踏み込みその問題を明確にしているのは多くないと思われる。

本稿では植民地の問題が韓日の賠償問題だけではなく、植民地の事後責任回避が「現在の問題」にまで繋がっている面を考察してみる。

国際法の解釈はいかに

二〇一八年、韓国大法院の判決に対して、日本側は、「国際法に照らしてあり得ない判断」としたが果たして、「国際法」の解釈に、韓日併合は「合法」であったのだろうかを検証してみたい。

日本の正当合法論は国際慣習法（国家代表個人人の強制による条約は絶対的無効とする）を認めながら、一九三六年外務省の文書に「批准不要説」（我国ニ於イテハ、天皇ノ裁可ヲ以テ締結スル国際約束ト、御裁可ヲ仰グコトナク政府又ハ関係官庁限ニテ締結スル国際約束）、「批准ヲ要セス、唯陛下ノ御裁可ヲ以テ

締結スル国際約束」を根拠としている。リベラルだといわれる村山富市元首相は一九九五年八月植民地支配と侵略を認めて、旧条約は従来の日本政府の立場「正当・合法」論を維持しながら、「不当・合法」論に変化した。菅直人元首相も二〇一〇年八月談話で、植民地支配の違法性までは言及していない。

しかし、現実的には国際法で、「保護条約」は「明示ノ批准」が必要だと明記されている。国際法の権威、ウイリアム・ホール氏は「韓国併合文書」には外部大臣の署名捺印の外形はあるが、主権者の高宗皇帝の批准がないことは明らかに効力を発生していないとした。武力による侵略行為と強制的な占領、征服で覆い隠して諸外国からの批判を招かないように、条約の締結をしたことは国際法上からも不法である。一九六三年、国連国際法委員会（ILC）は報告書に「韓国保護条約」は日本軍が大韓帝国の政府代表個人を脅迫して、締結の形を捏造した未完成のもので「絶対的無効」だとしている。

併合と植民地は違うのか

日本は明治維新後、「我邦利益線の焦点」は朝鮮に在りとし、「雲揚号」の軍事力によつて一八七六年「日朝修好条規（江華島条約）」を締結した。そこで、朝鮮は「自主の邦」と規定されたが、それは清国との宗属の関係から離脱させる策略であった。

日本の花房公使は一八八二年の壬午事変で済物浦条約、八四年の改革派の甲申政変の失敗で漢城条約を強要し軍隊の駐留権利を得た。九五年東学党の甲午農民戦争の弾圧をきっかけに日本は清国に戦争を仕掛け、勝利を収めて下関条約で清国と朝鮮との宗属関係を断ち切ったのである。日本は一八九七年高宗一家がロシア公使館の庇護の下、大韓帝国の樹立と「光武改革」を実施して、鉱山と鉄道利権を譲渡しないと宣したことを自国の安全に反するとして植民地獲得のために日露戦争を始めた。伊藤は三浦梧楼公使に王妃閔妃を惨殺させ、高宗を脅したが、決裁者の不在のまま乙巳条約は強引に締結させ、日本軍の駐劄（サツ）軍の常駐と内政、外交権を奪い、自ら初代総督に就き統監統治を行った。

高宗は最後の望みとして、オランダのハーグで開かれた第二回

万国平和会議(一九〇七年)に三名の密使を送ったが、無視され強制的に退位させられた。日本は一九〇七年第三次韓日協約で、韓国軍を解散させ、反旗を翻した武装・義兵闘争に対し、一万八千人の朝鮮人を虐殺し鎮圧した。その抵抗運動の一端として、一九〇九年一月二六日中国の哈爾(ハルビン) 駅で安重根義士は伊藤博文を射殺して、独立を叫んだが、一九一〇年に韓日併合がなされた。その条約には「韓国皇帝は朝鮮半島の統治権を完全かつ永久に日本国天皇に譲与し、日本国天皇は譲与を受託して朝鮮半島を大日本帝国にすることを承諾す」と書かれた。これによって、韓国皇帝は「李王家」、皇族に準じる王皇族(一五〇万円の歳費)になり、大韓帝国は消滅し、朝鮮人に「二等国民」の日本国籍が与えられた。しかし、それは二代目統監寺内正毅と李完用首相との間で締結されたが、肝心な皇帝純宗は詔書に署名しておらず、条約は全く成立していなかったのである。

その歴史的根拠で、韓国の大法院は二〇一八年に元徴用工たちの提訴に対して、それを認め「完全かつ最終的に解決済み」を覆したのである。「不法な植民地支配」に基づく請求権が、日韓請求権協定に含まれていないということであれば、日本統治時代に朝鮮半島で起きたさまざまな被害が請求権問題として、蒸し返される可能性が否定できない。それだけではなく、併合条約が不正・非合法的なものだとすると、他の植民地支配についても同様の問題呼び起こすことに繋がり、「パンドラの箱」を開けることになりかねない。

植民地合法論は正しいのか

日本の合法論で併合が近代化を促進させたという説を検証する。旧大韓帝国時代は漢城(現在のソウル) 近郊に八〇キロしか舗装されていなかったが、併合後には京釜線から京義線を含め鉄道総延長六六三二キロ、道路一六〇〇キロを整備したという。すべて、大陸進出と資源を略奪するためのものである。総督府は土地調査を行い朝鮮全土の土地所有者を確定し、軍服を着た東洋殖産株式会社が土地買収し、一九二〇年時点で、一〇万町歩を買収して、朝鮮で最大の地主となり、米の生産量を併合前の

五割増に増やし、日本に四六七万石(三二年には七二〇万石)を輸出したという。これは正常だろうか。

当時東洋最大の規模で七〇万キロワットを誇る水豊発電所(黒部ダム)の二倍、一九四一年完成、年産三・四トン巨大セメント工場(小野田、浅野、宇部)、興南肥料工場、一四万トン年産の無煙炭工場、年産一五万トン製鉄所を含め採掘量(併合時八万トン)が一九四三年には七〇六万トン)は年々増えていった。

植民地の後遺症は創氏改名と母国語禁止令等同化政策である。朝鮮人に日本の国民意識を植え付けるために、先祖から引き継いだ「姓」を捨てさせ、日本の「氏(家族を表す苗字)」に変え、名前を日本風に変更する「改名」を迫ったのである。国民統合の支柱として神社や祠を建て、神社参拝を強制した。併合後三回にわたり、朝鮮教育令を公布し、内地日本と同等の学制を敷き、「国語」の日本語を強制し、「内鮮一体」「内鮮融和」を唱え、朝鮮語の禁止を諮った。それと同時に特別志願兵制度で兵士募集を行い、一九四三年には三〇万人の応募者を集めたという。

戦争遂行のための労働力を強制的に徴用できる国民徴用令(一九三九年発令)は四四年に朝鮮半島にも適用し、七〇万人の強制動員者を生み、三八年に「軍慰安所従業婦募集」の通達で二〇万人(一九六五年荒船清十郎議員は従軍慰安婦の死者一四万二千人発表)の慰安婦を生んだのである。外務省の資料には陸軍二五万七千人、海軍一二万人、軍属一五万人(二万二千人が戦死)が四五年にはいたという。

このように、日本は一八七六年から朝鮮を侵略し、一九一〇年から植民地支配を始め、数限りない殺戮、人的物的略奪、奴隷的苦役、人権剥奪、拉致強制連行、性的虐待等を繰り広げて、四五年に終了した。朝鮮は植民地にされた故、分断された国家が残り、同じ民族同士で血を流す悲惨な戦争で一〇〇〇万人の離散家族を生み、今なお三八度線で睨み合いと憎悪の敵対状態が続いている。これは植民地支配が産みだした、絶対に許されない悪行である。それにも関わらず日本は朝鮮の南北分断の苦難と悲しみに向き合わず、南北統一と和解に常に因縁をつけ妨害しているのである。

植民地は奴隷制と同様

今回、日本製鉄と三菱重工業に対する裁判は強制動員された被害者の権利救済問題である。その本質は、被害者個人の人権問題であり、いかなる国家間合意も、被害者が受け入れられるものでなければならぬ。ノーベル文学賞を受賞した大江健三郎氏は「日本は自らの過ちに対する歴史的な清算を怠っている」と指摘した。他人の足を踏んだ人は痛みを知らないが、踏まれた人は痛みを忘れない。加害者は事実を認めて謝罪し、謝罪の証しとして賠償し、事実と教訓が次世代に継承されて真の解決になる。日本の裁判所も原告の被害が強制連行や強制労働に該当し、違法だとしている以上、日本の加害者（企業）が決断し、日本政府がそれを妨害しなければ解決できる問題である。

この問題は現代社会において、外国人労働者の導入・活用、処遇という問題とも類似性を持つものである。現代の外国人労働者も戦時下の朝鮮人労働者も、労働力不足を背景にホスト社会のマジョリテイが忌避する職場で就労させるために動員させるために導入された点では同じである。今日は少子化、戦時下は軍事動員という事情の違いはあれ、共通していると思われるのである。

今や、二〇一八年の統計で、一人当たりのGDPは日本が四万一千五百ドル、韓国が四万二千三百ドルと逆転して、経済面で「歴史認識衝突」が発生している。二〇〇一年、南アフリカのダーバンで、国連主催による「人種主義、人種差別、外国人排斥及び関連する不寛容に反対する世界会議」が開かれ、植民地主義は奴隷制と同様、幾百万人に被害を与え、悲劇的惨状をもたらすことが認められた。なお二〇〇九年、このダーバン会議をフォローアップする会合が開かれ、旧宗主国に対し打ち破ろうとしているのが世界の流れでもある。

世界は一極型ではなく、多極型になりつつある。BRICSが台頭し、米欧が牽引する時代は終わり、グローバルサウスの時代に突入している。日本は日米安保条約で縛られているもの、スイスやインド、ASEANのように中立の立場に立ち、自主外交を志向すれば、北東アジアの平和は保たれ、朝鮮に制裁を加える

理由がなくなるのである。

朝鮮のミサイル実験に対し、日本が「反撃能力」云々として相手国に威嚇を与えることは心配である。何の役に立たないJアラートの発令で不安や憎悪だけを煽るのは、過剰反応であり不適切だと思われる。いたずらな反応は何ら関係のない在日コリアンに対するヘイト行為を誘発し、か弱い子供が標的にされ、ネットで罵声を浴びさせる憎悪犯罪は頻繁化している。日本は核兵器禁止条約に調印し、核兵器の使用と威嚇を禁止すれば、「平和緩衝地帯」になることが可能になり、朝鮮との対話の道も開ける。「唯一の戦争被爆国」の日本が「緩衝地帯」になれば米朝・米中戦争を防ぎ、世界の平和と安定に貢献できるであろう。

やまいた

二一年前、日本は平壤宣言で、「過去の植民地支配」に対し、「痛切な反省と心からのお詫びの気持ち」を表した。未解決な朝鮮との植民地問題は戦後日本の責務であるが拉致の問題で遠ざかった感がある。

日本は真摯に自国の歴史に向き合い、植民地と朝鮮人強制連行の歴史は、日本人が覚えておくべき歴史ではなく、日本が持つマジョリテイの弱さがマイノリティに対する加害の歴史をもたらし、それを自覚すべきであろう。

朝鮮は米国の強大な核兵器の脅迫に七〇年間耐え抜いて、独自路線を貫いている。日本は本心に「何の条件」も付けないのであれば、朝鮮に対する独自制裁を解除し、新しい歴史認識で対話すれば、朝日関係も改善していくと思われる。

（二〇二三年六月一五日）

【参考文献】

- 白宗元『戦争と植民地の時代を生き延びて』岩波書店二〇一〇年、井上勝生『明治日本の植民地支配』岩波現代全書二〇一三年、青山誠『日韓併合の収支決算報告』彩図社二〇二二年、徐民教『韓国駐劄（サツ）軍の形成から朝鮮軍へ』坂本悠一編『地域の中の軍隊 7 植民地帝国支配の最前線』吉川弘文館二〇一五年

★ごあんない★

邑翠文化フォーラムの
願い

邑翠は、緑に包まれた爽やかな空間の意

朝鮮半島と日本との間には古代から交流が脈々と続いてきたことは明治以前の考古学、歴史の研究によって明らかになって来ています。日本人のDNAに半島から渡来した人々の影響があることも否定できません。

2002年のワールドカップの日韓共催を前に当時の天皇、現在の上皇様が「わが天皇家も古代においては、天皇の夫人に百済王族系の女性が迎えられているなどで、韓国には強いゆかりを感じています。」と述べられた事も記憶に残っています。

21世紀の今、東海地方には多彩な人々が住んでいます。日本人は、もちろん、二つの祖国に別れている在日の人々に日本籍にかえた元在日の人々、そして、増え続けるニューカマーが混在していますが、相互の交流がほとんど無いまま時には反発しあう人々もいます。

邑翠フォーラムは、こうした現状に一石を投じようと考えています。継続的な講座の開催で古代からの半島と日本との文化的交流の歴史を確認してもらい、受講した人々が夫々の立場を超えて互いを認め合い対話を始めるよう努力するつもりです。

こうした考え方に共感しているのが、すでに25年間、日韓の民間交流の実績を積んできた日韓市民ネットワーク・などやなので、この団体と協力しながら、講座を継続し、多文化共生に、わずかでも尽力したいと考えています。

講座「朝鮮半島と日本との交流史」

第1回シリーズ

こうして人々は波濤を越えた!!

【講師】西谷 正 (九州大学名誉教授)

【会場】名古屋国際センター大ホール

■名古屋駅から東へ徒歩7分
■地下鉄桜通線「国際センター」駅下車すぐ



アクセス

【参加費】1回1000円 (定員120名) 学生無料

- ① 5月3日(祝) 14:00 ~
高句麗からの渡来文化~強大国の誇り高く
- ② 6月11日(日) 14:00 ~
百済からの渡来文化~文化大国の栄光映えて~

③ 7月9日(日) 14:00 ~

新羅からの渡来文化

- ④ 8月6日(日) 14:00 ~
加耶からの渡来文化~一衣帯水の絆ここに!~

WEBでのお申し込み

右記のQRコードからお申込みください⇒

FAXでのお申し込み

下記のフォームにご記入の上、0568-84-8674 までお願いします。



【お問合せ】邑翠文化フォーラム事務局 Park 080-8250-2452

講座「朝鮮半島と日本との交流史」
第1回シリーズ

FAX 0568-84-8674

名前	(フリガナ)	職業	参加回	①・②・③・④
				※参加回に○をつけてください。
連絡先				

※電話番号またはメールアドレスをご記入ください。

いま面白い市民運動の情報誌
地元
グループ紙誌
5月号

● **なごや市職**

(第二三八四号) 二〇二三年六月十一日 発行 名古屋市中区三の丸 労働組合 / 名古屋市中区三の丸

○どこが「異次元」? / 問題だらけの「少子化対策」 / 愛知発祥「子どもたちにもう一人保育士を」 実行委員会
 ○会議室も休憩室も足りない / ガスもない / (平和公園横の仮庁舎) 千種区役所支部・庁舎アンケート
 ○何でも話せて広がる笑顔 / 保健師新人歓迎会

● **平和新聞・愛知版**

(二〇二三・六・一五) 編集 二〇二三・六・一五 名古屋市中区

○愛知県平和委員会活動交流会 IN 港区 / 大阪とあいち港区の経験を活かして
 ○四年ぶりのリアル平和行進 / 桜丘高校では感動の歓迎集会
 ○天白区平和委員会平和ツアー / 目の前を次つぎと戦闘機が

● **ポラム**

(第一三九号) 二〇二三・六・一七 発行 岐阜朝鮮初級学校の子どもたちを支援するポラムの会 / 岐阜市長良
 ○【教室から】運動会
 ○高賛侑監督ドキュメンタリー映画「ワタシタチハニンゲンダ」 / 続・映画を観て思ったことと考えたこと

● **草の根**

(二〇二三・六・六) 発行 名古屋水爆禁止愛知県協議会 / 名古屋市中区
 ○被爆者の声を聞き 禁止条約に参加を! / G7 広島サミットに合わせ榮で署名・宣伝

行動

○『被爆者も世論も無視』 / 談話で強く抗議
 ○中高生が全国で署名行動 / 声をあげよう! 高校生署名

● **みかん畑の大きなテント**

(第二〇号) 二〇二三・六月 発行 愛知・大府飛行場中国人強制連行被害者を支援する会 / 名古屋市中区
 ○十周年総会開催される
 ○中国人強制連行・強制労働と万人坑 (人捨て場) / 青木茂

● **愛労連**

(第三五九号) 二〇二三・六月 発行 愛知県労働組合総連合 / 名古屋市中区
 ○「ゆにきゃん」活かして / なかま増やしがんばろう / ゆにきゃん座談会
 ○【オピニオン】若者は経験

により成長し、やがて社会を変えていく

○中電新入社員労災認定訴訟が名古屋高裁で逆転勝訴 / 上司のパワハラと中電の責任を認定させ労災認定

● **窓の会**

(第八六号) 二〇二三・六月 十 発行 これから出版 / 豊橋市

○豊橋空襲と豊橋公会堂そして、時の豊橋市長 / 水谷しんり
 ○ゾルゲ事件とジェンダー / 櫻村愛子
 ○「四季」創刊のころ / 大伊和雄

● **革新・愛知の会**

(第三三七号) 二〇二三・六月 十 発行 平和・民主・革新の日本をめざす愛知の会 / 名古屋市中区
 ○「インタビュー」菅原 怜さん / 気候危機打開は緊急の課題 / 愛知から運動起こそう

／先進国・日本、愛知の責任として

○「近ごろ思うこと」北村栄さんⅡ巨大ローファームと最高裁との癒着

○「多数派めざして」佐竹康之さんⅡ被爆者とともに核兵器の禁止・廃絶へ／G7広島は「失敗だった」岸田首相の態度は大きな障害

●軍装操典

(第一五二号Ⅱ二〇二二・二・二五 発行所Ⅱ全日本軍装研究会／岐阜市長良)

○旧鳴門要塞門崎砲台の現状と課題について／山本達也

○幻の滋賀満州報国農場と女子隊員の写真アルバムを初公開／出雲一郎

○「近代遺跡考古学(六三)」終戦時にける大磯地区の部隊配置・前編／市原 誠

ほか



★全国各地の通信から

日朝協会

【福岡版】二〇二三・六・一

○「あれこれコリア」姉妹駅／釜山駅と博多駅

○「アンニョンハセヨ」閣僚が軍国主義の象徴・靖国神社参拝

○「韓国マスコミ」G8の前に立つ韓国外交／G7と共に新国際秩序を描く

ほか

【群馬版】二〇二三・六・一

○日韓首脳会談、韓国の新聞はどう評価したか／ハンギョレ新聞・ソウル経済・京郷新聞・中央日報・東亜日報・朝鮮日報・国民日報・釜山日報
○米・タイム誌／岸田首相「何十年も続いた平和主義を捨て

事務局から

夏季財政活動にご協力を

- 会員会費(半年分)=3,000円(会報本部版・愛知版の購読費を含む)
- 購読者『日本と朝鮮(愛知版)』の購読費(半年分)=1,500円
- 資金カンパ大歓迎
- ★振込用紙は一律に送付しました。

ご投稿のおすすめ!

- ★月刊『日本と朝鮮(愛知版)』は、日・韓・朝の市民が往き来する、紙上交差点をめざします。内容は、身近な話題、証言、時評、書評、資料等の紹介、提案・意見など。長短はかまいません。
- ★取材を依頼される場合はその旨お知らせを。
- ★締め切りは、毎月20日ごろ。Eメール歓迎。
- ★送配布先についても、ご紹介下さい。

【表紙Ⅱ三浦雅子】

去り、日本を真の軍事大国にする」
○「GX脱炭素電源方案」について／新井忠夫

ほか

兵庫 強制動員真相究明ネット ニュース 二二二号

○二〇二三年強制動員被害者遺族調査と佐渡証言集会／竹内康人
○佐渡鉱業所「半島労働者名簿」の公開を求める要請書
○佐渡島の金山・世界遺産推薦

書などの公開と対話を求める要請書

兵庫 むくげ通信

三二八

ほか

○「研究ノート」植民地下朝鮮における中国人会社及び工場労働者(上)／堀内 稔
○韓国の漢字について／深田 晃二

○むくげ通信書誌情報のデータベース化プロジェクトなど／飛田雄一

ほか

日本と朝鮮 / 愛知版
2023年 6月 (472)号

■発行/日朝協会(発行責任者=宮川泰彦) ■昭和 28年 11月30日 第三種郵便物認可
■編集/日朝協会愛知県連合会事務局 ■464-0853 名古屋市千種区小松町6-9-1
■Tel・Fax=052-73139445 ■Eメール/y-koide@mse.biglobe.ne.jp
■サイト=http://www.aichi-niccho.com / ■振込先=0840-9-27721